

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	市民病院整備事業		
事業担当	市民病院 改築推進室		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③(利便性) 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	患者、来院者、職員	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
市民病院を再整備することにより、安全な医療サービスが提供されています。		安全な医療サービスを提供するため、市民病院将来構想に基づき、改築を推進し、機能の拡充を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	市民病院整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成28年度を100%とした市民病院整備進捗率。H23まで:50%、H24:建設10%、H25:建設10%、H26:建設10%、H27:建設・既存棟改修10%、H28:既存棟解体・外構10%				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	30	40	50	60	
	実績	27	30	40		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	②: 若干遅れている					
	遅れている理由	既存北棟の構造上の問題のため、新棟建設に必要な大臣認定取得が遅れています。				
平成23年度の主な取組と成果						
整備事業として、前段工事となるオイルタンク等移設工事を発注しました。また、機能移転施設として計画していた仮設救急棟及び保育所棟についてリース契約を締結し建設に着手しました。また、まちづくり条例など各種規制への対応(道路拡幅、高さ制限等)に相応の時間を要しましたが、高度地区の適用除外などの認定を得ることができました。						
平成23年度の検証結果	B: おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域医療を支える基幹病院として救命救急を含めた高度医療の提供と、災害拠点病院として耐震性の高い建築が必要であり、それらへの市の関与は無くしてはなりません。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	新棟の建設にともない、新たな病院機能の設置による高度医療の提供、高い耐震性の獲得による災害拠点病院としての能力の向上に有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	耐震性の低い南棟の長期使用は、管理者責任を果たしていません。基幹病院として、災害医療拠点として安全安心な病院が必要であることから妥当と考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間病院建設コストと比べて、公立病院建設コストは割高です。研究は必要であるが、民間の設計思想、契約方法等は公立と大きな違いがあるため、安易に真似ることはできません。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 引き続き、耐震性に問題がある南棟の早期使用停止、新たな病院機能を設置した新棟の建設、その新棟建設に必要な大臣認定の取得手続や、工期短縮と工費節減等の具体化を可能とする発注方法の検討が課題です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		設計者選定、基本計画確定、設計	設計	実施設計、オイルタンク等移設工事	建設
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	54,400	393,500
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	100,812	108,344	86,889	141,071
事業費 (A)		100,812	108,344	141,289	534,571
執行率 (%)		35.88	77.22	36.95	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	0	0
フルコスト (A+B)		100,812	108,344	141,289	534,571

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成25年度の取組方針</b> 年度内に新棟本体の着工を行い、病院機能を低下させない工法を取りつつ工期短縮を図り、耐震性に問題がある南棟の早期解体を目指します。
<b>課長コメント</b> 平塚市民病院将来構想で目指している病院機能を実現するため、一つ一つのステップを着実に進めていくことが重要となります。